

様式第27号(第23条関係)

年 月 日

岡山県知事 殿

管理者 住所
" 氏名
電話 ()

放射性同位元素装備診療機器設置届

放射性同位元素装備診療機器を設置したいので、医療法(昭和23年法律第205号)第15条第3項の規定により、次のとおり届け出ます。

記

- 1 病院(診療所)の名称
- 2 所在地
- 3 設置予定年月日 年 月 日
- 4 使用開始予定年月日 年 月 日
- 5 放射性同位元素装備診療機器及び施設の概要 別紙のとおり

別紙

病院又は診療所の名称				整理番号	1	2
所在地				区分		
放射性同位元素 装 備 診 療 機 器 の 用 途	用途					
	製作者名					
	型式及び製造年月日					
	装備する放射性同位元素の種類					
	装備する放射性同位元素の数量				Bq	Bq
使 用 室	使用室名					
	使用室の構造					
	材 質 ・ 厚 さ	天井				
		床				
		壁				
	外部に通ずる部分の閉鎖設備・器具				有 ・ 無	有 ・ 無
	使用室である旨の標識				有 ・ 無	有 ・ 無
間仕切り等の予防措置				有 ・ 無	有 ・ 無	
管 理 区 域	管理区域である旨の標識				有 ・ 無	有 ・ 無
	区域の外側における実効線量が1.3ミリシーベルト/3箇月以下となる措置				適 ・ 否	適 ・ 否
	管理区域の境界における立入制限措置				有 ・ 無	有 ・ 無
そ の 他	注意事項の掲示(従業者)				有 ・ 無	有 ・ 無
	注意事項の掲示(患者)				有 ・ 無	有 ・ 無
	敷地内の居住区域及び境界の実効線量が250マイクロシーベルト/3箇月以下となる措置				適 ・ 否	適 ・ 否
	その他の患者の被ばくする放射線の実効線量が1.3ミリシーベルト/3箇月以下となる措置				適 ・ 否	適 ・ 否
	使用室以外の部屋で使用する予定				有 ・ 無	有 ・ 無
従事者の放射線測定器						
被ばく防止のための器具						
事故発生時の連絡網及び通報基準・通報体制の整備					有 ・ 無	
放射性同位元素装備診療機器を使用する医師、歯科医師又は診療放射線技師		職 種	氏 名	免許番号及び取得年月日	放射線診療に関する経歴	

(注意事項)

- 「区分」には、新設、廃止、更新の別を記入し、更新については例えば「1(整理番号)の更新」のように記入すること。
- 「用途」には、骨塩定量分析、ガスクロマトグラフ用、輸血用血液照射等の別を記入すること。

(添付書類)

- 施設の放射線防護に関する遮蔽計算書
- 図中に放射線取扱施設の場所を明示した病院(診療所)の全体図面
- 隣接室名、上階及び下階の室名、周囲の状況、管理区域の範囲並びにその標識等の位置を明示した放射線取扱施設の平面図(詳細図)及び立面図
- その他参考となる資料(カタログ等)